

FDT GROUP よりFDT UE開発者ツールの評価ソフトウェアを提供

2023年4月6日



産業用デバイス管理のためのFDT技術の進化をサポートする国際非営利団体であるFDT Group™は、本日、FDT UE開発者ツールの評価ソフトウェアのリリースを発表しました。このソフトウェアはFDT3をベースとするシステムおよびデバイスDTMのソリューションの実現を推進し、次世代の産業用モノのインターネット（IIoT）アーキテクチャに拡張するのに必要な、最新のインテリジェントなデバイス管理や監視機能を求めるユーザーの要求に応えるものです。

産業用オートメーションシステムおよびデバイスのサプライヤは、IIoTアーキテクチャをサポートする相互運用可能なソリューションを提供することが求められています。顧客のニーズを満たすためには、サプライヤは、情報駆動型で、ビジネスモデルにとらわれない最新の技術標準を使用した、システムおよびデバイスを提供することが不可欠です。この新しいFDT3標準は、IT/OTデータ駆動型の産業用デバイス管理のための統合環境を提供するもので、FDT UEをFDTベースのソリューションのためのエコシステムとして用いることで、デジタルマニュファクチャリングへの変革を加速することができます。

FDT Groupより開発者ツールキットをベンダーに提供

- FDT3標準に準拠した、プラットフォームに依存しないFDT UE対応のホストシステムやデバイス製品の開発用に用意されており、ベンダーは付加価値に集中できます。
- 開発のクイックスタート、最小限のエンジニアリング作業、簡潔な認証/登録で新製品の市場投入までの時間を短縮できます

- 同時に相互運用性とシームレスなデータ交換をシステムやデバイスタイプ、データモデル、IT/OTのネットワークやプロトコルに依存せずに事業全体にわたって実現できます
- コーディング不要で、OPC UAやモバイルへ対応でき、ITならびにOTのチーム間で診断、監視、最適化に向けた信頼性のあるデータアクセスができるようになります。

FDT UE開発者ツールキットの評価版はFDT Groupのメンバー（コーポレートは全クラス、アフィリエイトはレベル1-3）に対して自社の開発作業のクイックスタートを支援するために提供するものです。このツールを使ったFDT UE製品の製品化や販売には、販売の前のFDT Groupでの認証においてFDTライセンスが必要となります。

開発者ツールキットの評価版には以下のものが含まれています。

- FDT UE – DTM 共通コンポーネント
 - FDT UE – dtmINSPECTOR
 - FDT UE – サーバー共通コンポーネント（デモサーバー）
-
- メンバーの方は開発者ツールキットを、[FDT Group website](#) からリクエストすることができます。

「メンバーがこのツールキットを自由に利用できるようにすることで、プロセスおよびファクトリ市場での最新のインテリジェントなデバイス管理や監視機能を求める業界のニーズに応えるFDT UEベースの製品開発がより容易になりました。我々のワーキンググループやその開発支援者の優れた成果としてこのツールが実現しました」

FDT Group マネージングディレクターのSteve Biegacki氏はこのように語っています。

FDT UEをベースとした製品の開発のアウトソーシングを検討されている会社は、FDTのサービスプロバイダーにお問い合わせください。プロバイダーにはCodeWrights、M&M Software、Hilscher、Thorsis、Utthungaなどがあります。

サービスプロバイダーへの問い合わせは[こちら](#)へ

FDT Group AISBLについて

FDT Group AISBLは、産業用オートメーションと製造分野の有数のメンバー企業で構成される国際非営利法人です。FDT Groupの主な目的は、企業全体のネットワークとアセットの統合にオープンなスタンダードを提供し、プロセス、ハイブリッド、ファクトリオートメーション市場において、オートメーションシステムがセンサーからクラウドまで接続して通信する方法を革新することです。FDT標準は、IEC 62453、ISA103、および GB-T 29618-2017 によって世界的に採用されており、何百万ものデバイス タイプ マネージャー（DTM）で使用されています。FDTの技術は、産業用モノのインター

ネット (IIoT) や Industrie 4.0 などの進化に対応できるので、製造業者とエンドユーザーの両方にメリットがあります。これにより、最新のアセット統合ならびにパフォーマンスデータへのアクセスが可能になり、重要な運用上の問題も可視化できます。世界中の、エンドユーザー、メーカー、大学、研究機関が協力してこの技術を開発し、開発ツール、サポート、およびトレーニングを提供し、実地試験やデモンストレーションもサポートしています。このようにして製品の相互運用性をも実現しています。

詳しくは、こちらをご覧ください: www.fdtgroup.org